



～どうだんつつじ満開～

6月14日（火）那岐山

那岐山のドウダンツツジは6年ぶりの満開を迎えました。西仙コースには避難小屋から山頂にかけて、高さが3m以上もあるドウダンツツジの群生地があります。その光景は満天星（ドウダンツツジ）の名の如く、数え切れないほどの花が頭上を覆い尽くし、その光景は見る者を圧倒します。

前回は平成17年、前々回は平成12年に満開となりましたが、次はいつ見られるのでしょうか。

～練習の成果を発揮～

6月19日（日）第13回土師っ子のど自慢大会

毎年恒例のど自慢大会。3年前から一般公開しています。小学校統合で今大会が最後となります。今年は100人を超える多くの保護者や区民が集まりました。

大会には児童や先生のチーム合わせて21組が出場し、最優秀賞や歌声賞などの賞を目指しました。各チームが気合いの入った衣装や振り付けで歌を披露すると、審査員の先生は「踊りが格好良くて、息がピッタリ合ってる。衣装がとても可愛い」と児童の姿に感動していました。

審査員による評価の結果、3年男子の「にんじゅ」チームが見事最優秀賞に輝きました。



最優秀賞の「にんじゅ」チーム
左から、入江想真さん（塩田）、谷村映季さん（三田）、
小林隼人さん（長瀬）、萩原琴弥さん（山根）



～森林セラピーオープンに向けて～

7月30日（土）31日（日）のグランドオープンから本格的に始動する森林セラピーの広告が、設置されはじめています。

智頭警察署の下手側や観光協会の前、特産村、すぎっ子バスなど、町内に続々と看板の設置が行われています。

様々な方法でPRしていますが、さらなるPR活動を行うためには町民みんなの協力が必要です。

町民の方は、森林セラピーのガイド料が無料です。ぜひ1度体験して、セラピーの良さをみんなで広め、町全体で盛り上げましょう。



学力向上に向けて

とっとり学力向上支援プロジェクト事業 教育講演会

いま、智頭の子どもたちに『生きる底力と学力』を育てよう

●全国学力テスト・全国体力テストで、いつもトップクラス。日本海に面した県。それが福井県。

今年の教育講演会では、その福井県教育界の第一線で活躍されている現役校長先生を講師としてお呼びし、福井県教育の「ヒミツ」に迫ります。

●学校はもちろんのこと、家庭や地域でいまできることは？

智頭の子どもたちの良さや可能性も再認識！

【日 時】 平成23年8月22日（月）開会：午後6時30分

【会 場】 智頭町保健・医療・福祉・総合センター

ほのぼの内「ひだまりホール」

【演 題】 学力向上に向けて～学校・家庭・地域の役割～

【講 師】 三田村 彰 先生（福井県立金津高等学校校長）

【入場料】 無 料



問合せ先 教育委員会教育課 氏橋 ☎ 75 - 3112



～地元の森林を学ぶ～

6月2日（木）3日（金）山形小学校5年生が地元の山で森林学習

山形小学校では、地元の人から話を聞いたり、実際に木に触れたりすることで地元の森林について理解を深める取り組みを行っています。

芦津自然遊歩道で寺谷恒雄さん（72歳・芦津）が、「昔はトロッコがここを走っていたが、これからは森林セラピーで多くの人が歩くことになる」と話し、児童はスギの年輪を数えたり、クヌギに触れて実際に大きさを確かめたりしました。寺谷さんは「1人でも地元で林業を継いでくれたらうれしい」と期待を込めて話しました。

木工体験では春摘卓志さん（48歳・浅見）指導のもと、ヒノキを加工した「浅見」の焼き印付コースターを作製しました。春摘さんは「カップから落ちる水滴で、ヒノキの良い香りがコースターから広がります」と話すと、児童らは感心していました。



～掃除の心を大切に～

6月6日（月）那岐小学校 全校道德

来年度の小学校統合を控え「那岐っ子」としての自信と誇りを高めるよう、極楽寺住職吉沢有遵さん（65歳・五月田）を迎えて話を聞きました。

吉沢さんはお釈迦様の弟子が掃除を頑張ったことをきっかけに出世した話や、香川県善通寺市の中学校が掃除をきっかけに更正した話を時折冗談を交えながら話しました。「掃除と言っても身の回りだけでなく、心も磨かないと本当の掃除とは言えない。統合後も那岐っ子は勉強、運動、掃除の3つがよく出来ると言われるようになってほしい」とまとめました。

熊谷昂大くん（11歳）は「今まででは勉強と運動が出来ていればいいと思っていた。これからは掃除もちゃんとしなければいけない」と思いを新たにしていました。



～みんなでこねこね～

6月10日（金）諏訪保育園で世代間交流

普段、孫と接する機会の少ないおじいちゃんおばあちゃんが笹巻きを通して園児と世代間交流。年長組の園児37人とそのおじいちゃんおばあちゃんら合わせて約70人が笹巻きを行いました。園児たちは教えてもらいながら作った笹巻きを自慢そうに互いに見せあっていました。それぞれの家庭によって笹の巻き方が違い「三角巻き」「三味線巻き」など、おばあちゃん同士で教え合う姿も見られました。

孫の楓くん（5歳）と一緒に参加した岡田八州男さん（68歳・中原）は「普段は孫と離れて暮らしているので、こういった機会はとても楽しい」というふうに話されていました。

～安全は自分たちの手で～

6月12日（日）水防訓練

智頭町では毎年、梅雨・台風シーズンの前に河川の氾濫を想定した水防訓練を行っています。那岐小学校で行われた今年の訓練には約360人の消防団員が参加し「積み土俵工」などの訓練を行いました。土のうのすき間を土で塞ぎ浸水を防ぐ方法や、袋の積み方、杭の打ち方などの指示を受けながら土のうを積み上げました。

また、警察官による避難誘導、消防署指導の緊急搬送、社会福祉協議会の炊き出し訓練も合同で行いました。

こうした訓練によって智頭町の安全が守られています。

